

Nasushiobara International Association News



Vol.48

国際交流協会だより 2018.3.20

発行/那須塩原市国際交流協会広報委員会(事務局:那須塩原市企画部秘書課内 Tel:0287-62-7324)

ごあいさつ

平成29年度的那須塩原市国際交流協会は、企

画委員会、リンツプロジェクト委員会、広報委員会、日本語教室委員会、外国語委員会と5つの委員会構成で活動して参りました。企画委員会が中心となり、ミュージック&ダンス(ミニコミュニティ)を3回開催し、外国人との交流も多くできました。リンツプロジェクト委員会では、リンツ市の版画家ディーックマン氏の版画展の開催に協力致しました。また、那須塩原市海外姉妹都市交流促進事業に参加したメンバーの報告会など、姉妹都市のPRに努めてまいりました。また、広報委員会の積極的な活動により、3回の広報誌が発行でき広く協会の活動紹介ができました。日本語教室委員会では、多くの外国人が日本語を楽しく学んで来られたと思います。外国語委員会では、オーストリア・リンツ市との交流促進に向けて、ドイツ語講座を開設して参りました。多くの機会を提供していきたいと思っております。市民の皆様のご支援、ご協力を頂きまして大変有難うございました。

平成30年度も、市内に在住する外国人の為の日本語教室や交流を目的とした事業を開催して参ります。また、海外姉妹都市・リンツ市との交流促進にも取り組んで参ります。

今年も市民の皆様の応援をよろしくお願い申し上げます。 理事長 大島三千三

Greetings from Mr. Ohshima, the Chief Director

I'd like to express my sincere gratitude to the members. I got your great supports and cooperation.

= 2020東京五輪・パラリンピックに向けて

☆五輪事前キャンプ実施目指してオーストリアと協定締結

~ 事前キャンプ誘致の競技としてトライアスロンに照準 ~

那須塩原市が2020年の東京五輪・パラリンピックの

「ホストタウン」に県内市町で初めて登録され、2017年

9月15日オーストリアオリンピック委員会で事前キャンプ実施へ相互協力する協定

を締結しました。半世紀ぶりの自国開催五輪を肌で感じられる絶好の機会となる

はずです。子どもと海外選手の交流をはじめ、宿泊客の増加も見込まれるなど、

波及効果も考えられるでしょう。市内全小中学校は東京五輪・パラリンピックへの参画プログラム「東京2020教育プログラム」実施校に認証されているとも聞きました。ホストタウン登録はスポーツだけでなく、文化芸術の交流を深め、市民が豊かな国際性を養う機会となるでしょう。

Toward 2020 Tokyo Olympic Games and Paralympic Games

Nasushiobara city came to an agreement with Austria on pre-games training camp.



やさしい日本語 ワークショップ

・平成29年（2017）12月2日 開催
・東那須野公民館

An Easy Japanese Workshop

県協会事業 ～平成29年度やさしい日本語普及啓発事業～

○「やさしい日本語」とは・・・

「やさしい日本語」とは、普通の日本語よりも簡単で、外国人もわかりやすい日本語のことです。これは、地震などの災害が起きたときに有効なことばです。1995年1月の阪神・淡路大震災では、日本人だけでなく日本にいた多くの外国人も被害を受けました。その中には、日本語も英語も十分に理解できず必要な情報を受け取ることができない人もいました。そこで、彼らが災害発生時に適切な行動をとれるように考え出されたのが「やさしい日本語」なのです。（弘前大学HPより）講師：柳田直美氏（一橋大学国際教育センター准教授）



A project of promoting easy Japanese by Tochigi International Association in 2017.

○ワークショップ内容・・・日本人住民、外国人住民がともにやさしい日本語の役割を知りコミュニケーション手段としての必要性を知り、日本文化紹介などをトピックスとしたワークショップ。

○参加者・・・46名・・・（外国人22名、日本人24名）

モンゴル4、アメリカ3、中国3、マレーシア3、インド、イギリス、ジャマイカ、ドイツ、ブラジル、ベトナム各1

○アンケートから・・・（回答数 25名）

(1) 柳田講師のお話はいかがでしたか。

・とてもよかった17人 ・よかった16人 ・普通 2人 ・あまりよくなかった0人 ・よくなかった0人

(2) やさしい日本語ゲームはいかがでしたか。

・とてもよかった17人 ・よかった6人 ・普通 2人 ・あまりよくなかった0人 ・よくなかった0人



今回のプログラムは初めての試みで、十分でないかもしれませんが、やさしい日本語普及のため頑張りたいと思います。那須塩原市では、やさしい日本語を話してくれるから、安心して住めるよ、遊びに行けるよと、外国人の間で評判になるくらいならいいですね！

* 県国際交流協会 担当 田島亮子様より

● 企画イベント ミュージック&ダンス

Event by Planning Committee:

「第3回 ミュージック&ダンス」 2018年2月3日(土) 石山にて

Music & Dance

この日は節分ということで、理事長と招待の市議会副議長の豆まきで始まった第3回目のミュージック&ダンスでした。

モンゴル、フィリピン、ブラジル、日本の料理をいただきながら、会員やその家族、友人と市内に住む各国の方々と交流するという趣向でした。

参加者は80人、食べるだけではなく、マスクを作って踊って、とても楽しいひと時でした。



As the day was "setsubun" (the day before the beginning of spring), the party began with scattered parched beans by the chief director and an invited guest, vice-chairperson of the city assembly.



自作のマスクを付けて参加者で記念撮影



歌謡ショー!



日本の伝統行事「節分の豆まき」を体験!



モンゴルの歌を披露!



輪になってダンスを楽しむ!

モンゴル・フィリピン・ブラジル・日本の食を楽しみながら歓談・・・

Participants enjoyed chatting and having Mongolian, Philippine, Brazilian and Japanese food.



Connecting to the next Generation. Now high school students are ... !

About Interact Overseas Training in Taiwan.

インターアクト海外研修（台湾）について

平成 19 年度より海外研修が始まり、平成 19 年度から平成 20 年度では夏休みの時期にタイへ、平成 22 年度より春休みの時期に台湾へ行き、地元の高校生インターアクトクラブ員との交流や、文化的、歴史的な名所の視察を行っている。

平成 28 年度については、平成 29 年 3 月 26 日（日）から平成 29 年 3 月 30 日（水）に以下の通り実施された。（国際ロータリー第 2550 地区インターアクト委員会主催の研修で、本校からは 3 名の生徒が参加した。）

研修後にレポート作成を事後指導として行っているが、自分たちが現地の高校生と比較すると、消極的であることに気づき、積極的にコミュニケーションを図ることの重要性や伝えることの喜びなどが、生徒たちのレポートに書かれている。わずか3泊4日の研修ではあるが、生徒たちにとっては大きな刺激となり、その後の進路や学習への意識を変化させることにもつながる研修であると思われる。

※「インターアクトクラブ」とは「国際ロータリークラブ」が提唱する青少年のための奉仕クラブであり、全世界で 200 カ国以上 120 万人を超える会員を有する国際組織となっている。現在、栃木県には本校を含め 51 のクラブがある。本校のインターアクトクラブは、平成 16 年度より活動が始まり、平成 19 年度より続けているペットボトルキャップの回収を週 1 回現在も続けている。その他、ロータリー主催の行事や地域のイベント等を中心に活動している。昨年度は、黒磯駅前商店会の方々と共同で「黒磯駅前お散歩マップ」を作成し地域活性化を図る活動を行った。（記事提供：栃木県立黒磯高等学校 鈴木 先生）

※ 'Interact Club' is a service club for young people ages 12 to 18 proposed by 'Rotary International Club' .



編集後記

Editor's Note

寒さの厳しい冬でありました。自然には逆らえない！！そんな下向きの思いの中、平昌での冬のオリンピック開幕。選手の活躍に心動かされ人間の可能性の計り知れなさに驚き、教えられました。

ふっと気がつくと春の始まり...。昨年 4 月より新メンバーで船出した「協会だより」作成。慣れない中手探り状態、まさに暗中模索の中リーダーの下、なんとか本年度 3 回目の発行に漕ぎ着けたことに安堵しております。

前を向いて、前向きに!! こんな気持ちで過ごせた一年間に感謝です。どうぞ、お手に取り感想等おきかせください。（広報委員一同）